

えるぼし及びユースエールの認定通知書交付式を開催しました！

平成29年11月14日、群馬労働局では、女性活躍推進法に基づく「えるぼし認定企業」として認定した株式会社上毛新聞社、社会福祉法人赤城会及び、若者雇用促進法に基づく「ユースエール企業」として認定した株式会社協和に対する認定通知書交付式を開催しました。



前列左から、株式会社協和 代表取締役 由田様、群馬労働局長 半田 和彦、株式会社上毛新聞社 代表取締役 北村様、社会福祉法人赤城会 理事長 狩野様



えるぼし認定は、女性活躍推進法に基づく行動計画の策定・届出等を行い、女性の採用倍率や管理職比率等の認定基準を満たした企業が受けることができます。認定は、基準を満たす項目数に応じて3段階あり、**株式会社上毛新聞社及び社会福祉法人赤城会は3段階目(最上級)の認定**です。

ユースエール認定企業の認定を受けるためには、人材育成方針及び教育訓練計画の策定、直近3事業年度の新卒者などの正社員として就職した人の定着状況、正社員の所定外労働時間の実績、正社員の有給休暇の取得実績、男女労働者の育児休業等の取得実績など、**各種要件をクリアした優良な中小企業**である必要があります。



半田群馬労働局長からの挨拶



本日は大変お忙しい中、えるぼし、ユースエールの認定書交付式にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

さて、人口減少、さらに高齢化も進み労働力が不足してきています。そのような状況の中で、女性活躍推進法が昨年の4月に施行されました。えるぼし認定制度もできまして、全国で420社が今認定を受けているところでございます。群馬県では5社ということになりました。

女性が活躍できる社会という話以前に、誰もが働ける社会の取組が非常に望ましいと考えます。

人口減少はますます進み、20年後、30年後がピークになると言われております。従いまして、今から様々な施策を企業の皆様のご理解を得ながら進めていかなければならないというのが、近々の課題であると認識しております。

本日はえるぼしの認定が2社でございます。

1社目の株式会社上毛新聞様は、今月創立130年を迎えられた、群馬県を代表するオピニオンリーダー企業であります。

えるぼし認定には5つの評価項目がありますが、その中でも特に管理職比率が高く、女性の平均勤続も長い、その他超過勤務も短いことなどがポイントになっています。

続きまして、社会福祉法人赤城会様です。赤城会様もえるぼしの3つ星で、最高のランク付けとなっています。赤城会様の業種につきましては、人手不足など様々な課題があると言われておりますが、そのような中で女性の活躍推進、特に女性の正社員への登用等を積極的に行われ、本日の認定に至ったということでございます。何れにしましても、社会福祉部門のモデル事業場になっていただきたいという思いがございますので是非ともよろしく願いいたします。

続いて、ユースエール認定でございます。

ユースエールは、若者法といいまして、1年半前に法律ができました。このユースエールの認定基準の項目は多岐に渡っており、難しいというご意見も多く寄せられます。そのような中で、群馬県では5社目の認定となりました。若者を育てていく企業が認定を受けられるということで、評価項目については人材育成の面からも、様々な指標がございます。その基準をクリアするのが非常に難しく、全国でもまだ約200の企業しか認定を受けていません。

そのような制度の中で、株式会社協和様は若者のために一生懸命な体制を作っておられるということでございます。特に能力開発あるいは研修制度につきましては、非常に熱心だということもポイントとなり、今度の認定となりました。

何れにしましても、若者が働きやすい職場ということのメルクマールになっていただければと考えております。

株式会社上毛新聞社

代表取締役 北村様からのコメント



本日は、栄誉あるえるぼし3つ星認定を賜りまして心から感謝申し上げます。

上毛新聞社は、女性の進出ということもさることながら、働きやすい環境づくりを目指しております。女性に限って取り上げますと、勤続年数は平均16年となっています。また、管理職比率も1割強と増えてきております。



常日頃、私ども管理者は女性、男性の区別なく、雇用管理を行っているため、現在も雇用状況は男女平均しております。

女性が産休・育休を利用してもその後も勤められる、働きやすい環境づくりを今後とも進めてまいります。

上州は、“かかあ天下”であり、名実ともに実現できればと思っています。



社会福祉法人 赤城会

理事長 狩野様からのコメント



本日は、えるぼし認定をいただきまして、本当に名誉あることで、ありがたく感謝申し上げます。と思います。

私たち、社会福祉法人赤城会は、知的障害者の支援施設で、約 220 名の方が入所しております。赤城会は、昭和 37 年にオープンいたしまして、現在 55 年を迎えたところでございます。その中で、約半世紀にわたって職員が支援にあたっていますが、約半数以上が、女性の方に活躍していただいております。



また、昨年 5 月にはくるみん認定もいただきました。若い世代の人たちが子育てをしながら職場で活躍していただいているので、私たちは、若い人たちまた女性の人たちが安心して働ける職場づくり、環境づくりに努めたいと考えております。

これからさらに女性活躍推進法を学びながら、全職員が安心して働ける職場づくりということを考えていきたいと考えていますので、よろしくお願ひしたいと思います。



株式会社 協和



代表取締役 由田様からのコメント

本日は、ユースエール認定企業という大変名誉ある認定をいただきまして、誠にありがとうございます。

弊社では、社員皆さんとのコミュニケーションを第一に考え、基本中の基本ですが、相手に伝わる挨拶の励行を大切にと考えて実践してまいりました。また、若手社員育成のため、5S活動、品質改善活動、提案制度、表彰制度等を通じて意識改革を行い、若手社員の意欲と成果による達成感を感じてもらえるように取り組んでまいりました。

また、資格取得の推進、外部講習への参加、めっき学校への入学なども積極的に行っております。

このような取り組みの結果、高崎ハローワーク様より御推薦をいただきましたことにより、この度のユースエール認定企業として認めていただけましたこと、深く感謝申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

